

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2019 晩秋
vol. 24



台風で被害にあった古民家ろくすけ周辺をみんなで片付け！たくさんの力が集まりました。（南房総市平久里）

も く じ

□不易流行	…2	□千葉県立君津亀山少年自然の家	…7
□ろくすけ日和	…3	□南房総市大房岬自然の家	
□千葉シニア自然大学	…3	千葉県立大房岬自然公園	…8～9
□7月～8月の現場レポート	…4～5	□ちば・体験活動ネットワーク	
□受託・ネットワーク事業	…6	団体紹介	…10～11
		□千葉自然学校スタッフ紹介	…12

不易流行

理事長 久保田 康雄

令和1年台風15号、また19号の被害にあわれた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

NP0 法人千葉自然学校もこの度の台風15号によって甚大な被害を受けました。千葉県立大房岬自然公園では、全国各地から駆けつけてくれたたくさんのボランティアの支援のおかげで、倒木でおおわれていた公園が少しずつきれいに片付けられていきました。本当に感謝、感謝の2か月間です。まだまだ、復旧には時間がかかりますが、今後ともよろしく願いしたいと思います。

私は、今年度、新たにNP0 法人千葉自然学校の理事長に就任いたしました久保田康雄と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は、大学時代、野外教育を専攻し、自然体験活動の効果について研究してまいりました。卒業後、冒険スキーヤーの三浦雄一郎氏の事務所に勤務し、子どもたちにキャンプやスキーを通じて冒険教育を実践してまいりました。その後、活動の場を国立の青少年教育施設に移し、青少年の体験活動の普及に努めてまいりました。縁があり、この春、千葉自然学校にお世話になることになりました。

前理事長の飯田洋氏からこの「一灯照隅」というコラムを引き継ぎまして、私は、このコラムのタイトルを「不易流行(ふえきりゅうこう)」にしたいと考えました。「不易流行」の意味については、「いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。また、新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。」ということです。

千葉自然学校で行われている活動の多くは、自然の中で行われており、その自然からたくさんの恩恵をいただいています。子どもたちは、自然の中で活動しながら、自分のことを、そし

て仲間のことを、大切に思い、様々な形で成長していきます。それは、個人によって異なることかもしれませんが、大人になっても変わることのない大切な価値観をこの時期に獲得していくのです。例えば、自分のことを好きだと思う「自尊心」であったり、人間関係をスムーズにする「コミュニケーション能力」であったり、相手のこと大切にする「愛他心」であったり、自ら考えて、自ら行動できる「生きる力」であったりするかもしれません。変化し続ける文明社会の中で、変わることのない大切なメッセージを自然から受け取っているのです。まさに、「不易流行」にふさわしい活動であると考えています。

ご報告が遅くなりましたが、千葉自然学校では、この夏、20数本のキャンプや自然体験活動が行われました。子どもたちは、海や山、川や森など、思う存分、自然の中での活動を楽しんだことと思います。普段の生活では、なかなかできない体験をし、たくさんの思い出や新しい自分を発見できたのではないかと思います。本誌の「主催事業現場レポート」の報告をご覧ください、子どもたちの成長する様子を見て頂ければ幸いです。今後ともNP0 法人千葉自然学校をよろしくお願いいたします。





ろくすけ日和 『ろくすけの夏、秋の報告』

千葉自然学校では、築190年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

今年の夏は子どもたちのキャンプと家族や仲間の時間でした。冷房施設はなく、自然の風と扇風機だけが頼りでしたが、みんな元気に楽しんでいただけたようです。8月25日は、都内の企業グループの稲刈りでした。グループ名は「南房総 ウチの田んぼ物語」。参加者40名余、地元と助っ人の「ろくすけの会」の皆さんを入ると60数人になりました。稲刈りの後は昼食を兼ねた交流会もあり、疲れたけれど心地よい一日だったと喜んでいただきました。

そして、秋が始まったかと思ったら台風15号の襲来。千葉県内は大きな被害が出ましたが、平久里地域も秋野菜の苗が入っていたビニールハウスの柱がぐにやりと曲がったり、倒木が道をふさぐなど深刻なダメージを受けました。

それでも下を向いている場合じゃありません。10月5日には平久里下区の区長さんからの要請があり、「ろくすけの会」、稲刈りに参加してくれた「南房総 ウチの田んぼ物語」、流山高校園芸科ボランティア、ヤックス自然学校のキャンプリーダーやホームステイに参加した子どもたち総勢65名で周辺の片付け作業を行いました。

午前中は地元の方たちと道の倒木や枯れ枝の片付け、午後はろくすけ周辺の片づけ。みなさんのおかげで見違えるほどきれいになりました。改めてろくすけに関わる皆さんのマンパワーには驚かされました。

もうすぐ紅葉がきれいな季節です。元気になった平久里に、ろくすけにぜひ遊びにいらしてください。（文：遠藤陽子／サニー）



千葉シニア自然大学

「第4回北海道グリーン・ツーリズム・厚真町復興支援ツアー」

昨年（2018年）9月の北海道胆振（いぶり）東部地方を震源とする地震によって、勇払郡厚真町（ゆうふつぐんあつまちょう）各地では大規模な土砂崩れが発生し、家屋が巻き込まれ、人的被害など甚大な被害を受けました。

4回目となる厚真町と千葉シニア自然大学との交流会は、このような状況の下、復旧・復興元年として取り組む厚真町の震災現場を肌で感じ、災害について学ぶと共に、初夏の北海道ならではの体験を通して、雄大な自然を楽しむツアーとして、7月7日～9日の2泊3日の厚真町復興支援ツアーとして企画し実施しました。

厚真町は苫小牧市の隣、太平洋に面する農村地帯で、道内でも雪の少ない温暖な気候で、日本一のハスカップの町です。しかしハスカップ農園や町のインフラが復旧し、正常化するまでにはまだかなり時間が掛かりそうです。崩れた山肌に何台ものブルドーザーが張り付いて地ならししている様子は痛々しいものがありました。

北海道のこの時期は、森や原野で一斉に花々が咲き、草木が萌え、大自然の命に満ち溢れる季節でもあります。

美々川のカヌーセーリング、ウトナイ湖野生鳥獣保護センター、星野リゾート・トマムの雲海テラス、朝ドラの「なつぞら」の舞台にもなっている十勝千年の森、日高山系ハイキングなどなどのイベントで北海道を満喫。

また、ノーザンホースパークでのサラブレッドの競り市に遭遇し、その様子が垣間見られたことも思い出となり、総勢33名は新千歳空港にて無事解散しました。（文：吉岡章次）



⑦⑧月 主催事業現場レポート

こども

アウトドアキッズ テントに泊まろう



7/20(土)~21(日) テント泊 君津亀山少年自然の家
幼児~小学生 ◆ テント設営/アウトドアクッキング
/たき火/森のアスレチック

テントを自分たちで立てたり、仲間と協力してクッキングをしたり、アスレチックで思いっきり遊んだり自然の中でおもいっきり遊んだ2日間でした。森には野生動物もたくさん住んでいますが、夜静かになった時に野生のシカも姿を見せてくれました。キャンプを通して子どもたちの顔が最初会ったときより少し大人になったような気がしました。



はじめてテントに
泊まる子どもたち。
ドキドキ、ワクワク
の体験になりました♪



こども

海でダイナミックに遊ぼう! 海チルアドベンチャー



7/29(月)~31(水) 施設泊 大房岬自然の家
小学生 ◆ビーチコーミング/海岸体験/生き物観察
/クラフト作り

南房総市の大房岬で、海遊びや生き物観察を中心に3日間楽しんできました。また、スライドショーを通して岬周辺で見られる生物を学び、サプライズでウミホタルの登場に子ども達も大喜びでした。晴れていても、海の状況に左右され、時には遊べないこともあります。だからこそ自然の遊びは面白く、慎重になるのです。



海に向かってジャンプ。
これだけで1日遊べま
す。単純な遊びほど盛り
上がります。



こども

むしむし大発見!自由研究のヒントに! 昆虫博士キャンプ



8/3(土)~5(月) 施設泊 君津亀山少年自然の家
小学生 ◆昆虫探し/ライトトラップ/図鑑作り/
昆虫標本作り

8月最初のキャンプは、昆虫博士を目指す子どもたち向けの「昆虫博士キャンプ」。虫取網の使い方からスタートして、夜のライトトラップ&カルピストラップ体験。

虫取りの技を競う虫取り大会をして楽しみました。最終日は、楽しみにしていた昆虫標本作り。自由研究のヒントに最適のイベントとして楽しんでもらえました。



カブトムシ捕まえたよ!
昆虫の取り方や生態も
たくさん知ることが出来
ました。



こども

とことん川を遊びつくせ!

リバーエクスペリエンス



①8/11(日)~13(火) ②8/20(火)~22(水)
施設泊 君津亀山少年自然の家 小学生
◆川遊び/沢の秘境探検/ナイトハイク/森探検

川、沢、森と自然をたっぷり味わう3日間。子どもたちの積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。川遊びでは、浮かんたり、生き物探しと川の自然を満喫。沢の秘境探検では、しっかり準備をして沢を遡ります。川廻しの滝など房総特有の自然を乗り越えて行きました。冒険的な体験を通し達成感を味わうと共に少し自信がついたのではないのでしょうか。



ドキドキの秘境探検!
途中魚やカニを
見つけました♪



こども

アイデアを形にする面白さ!

ちびっこ秘密基地キャンプ



8/14(水)~15(木) 施設泊 君津亀山少年自然の家
幼児~小学生 ◆秘密基地づくり①/秘密の集い
/秘密基地づくり②

自分たちだけのオリジナル秘密基地を形にすることを目標に子どもたちは協力しながら頑張ってくれました。森の中から枝や葉っぱなどの素材を探したり、自然ならではの形をしている木を見つけてイスにしてみたり、子どもから出てくるアイデアや発想力に驚かされました。何かを一緒に作り上げる楽しさを知ってもらえたと思います。



夜は作った秘密基地を
ライトアップ♪
幻想的な世界を楽しみ
ました。



こども

千葉の自然を思いっきり楽しもう

夏の里山里海大冒険



8/16(金)~19(月) 古民家泊 ろくすけ
小学生 ◆海遊び/里山遊び/たき火/スイカ割り/
流しそうめん

夏の古民家「ろくすけ」3泊4日は、大勢の子どもたちと過ごした賑やかなキャンプとなりました。すぐに仲良くなった皆と里山の自然で昆虫探しや星空を眺め、楽しみにしていた海では波やヒトデに大興奮。食事の後は自分達でお片づけし、率先してお手伝いもしてくれました。最後はスイカ割りで盛り上がり最高の夏の思い出ができました。



ゴールデンウィークから育
てていたトマトの収穫。
その場でほおばる食べ方が
一番!



《受託・ネットワーク事業》



海と日本プロジェクト in 千葉県 「B0-S0 海のめぐみ発見隊」

私たちを支えてくれる海の現状を伝え、海を未来へつないでいくためのアクションとして日本財団が立ち上げた「海と日本プロジェクト」。この千葉県版が8月に行われ、千葉自然学校が体験のコーディネートを行いました。

17名の子どもたちと3日間に分けて千葉県内の団体、企業の協力のもと地引網体験や塩づくり、魚の流通や、永続的に魚を食べていくために私たちができることについてなど盛りだくさんの内容で実施しました。

体験中、子どもたちは記者に扮し、体験先で写真を撮影し、講師の方にインタビューを行い、最後は班ごとに分かれて体験した内容を新聞記事にまとめました。普段なかなか出来ない体験を楽しみながらも講師の方に積極的に質問をしたり、班の友達と話し合うなど一生懸命考えながら体験している様子が見られました。

どの体験も私たちの生活に根付いたもの。体験した子どもたちがこれからの生活の中で少しでも海を身近に感じてもらえたら幸いです。

(文：山崎大地／だいすけ)



ネットワーク事業 「北総事業部会 九十九里マルシェ」



10月5日に北総事業部会開催の「九十九里マルシェ」を海の駅九十九里で行いました。今年は計7団体の出店で、八街産の茹で落花生や佐倉産のサトイモ、太巻き寿司や貝のクラフト、手作り風車など千葉のおいしい・楽しいが勢ぞろいしました。

当日は暑さもありましたが秋晴れの気持ちいい天気で、海の駅共に多くのお客様が来場。お土産に野菜を買われたり、風車で遊んだり、にぎやかな一日となりました。

まだ台風の被害が出ているところもありますが、千葉を元気にしようと県内では多くの団体が活躍しています。どんな団体がいるのかな？どんな活動が出来るのかな？興味を持たれた方はぜひお問い合わせください。

(文：山崎大地／だいすけ)



ヤックス自然学校「第43回サマーキャンプ」(株式会社千葉薬品 受託事業)

ヤックス自然学校では、年間通じて子どもとファミリーを対象に、四季折々の自然体験活動を提供しています。この夏、多くの皆様のご理解とご協力により、第43回サマーキャンプが無事終了いたしました。

野外炊飯やハイキング、ネイチャークラフト等のスタンダードなキャンプから「カブトムシキャンプ」「謎解き冒険キャンプ」「森のかくれ家づくり」といったテーマに沿った自然体験活動を実施しました。

野外で五感を働かせて遊ぶことはとっても大切なこと。子どもたちの生き生きと遊ぶ姿が随所見られました。また、初めて出会うお友達と協力しながら共に過ごすことは、コミュニケーション能力を鍛える体験。そして親元を離れての宿泊体験は子どもだけでなく、キャンプに送り出す保護者にとっても、大冒険だったかと思います。

参加者の皆さんは、どの体験・どの瞬間がインパクトに残ったのでしょうか？ひとつひとつの体験が、子どもたちの成長の糧になりましたら幸いです。(文：橋口和美／たこはち)



全17コース／日帰り、1泊2日～6泊7日

開催場所:千葉県長生郡長南町、南房総市、長野県北安曇野郡小谷村

対象:幼児、小学生、中学生、ファミリー／参加者数:計477名／延べ人数:1,414名

～ きみかめ便り ～



千葉県より指定管理を受け、「千葉県立君津亀山少年自然の家」の管理・運営をしています。清澄山系から連なる自然度の高い森の中に建つ、最大宿泊者数300人規模の施設となっています。

プラネタリウムの投影や芝の斜面を生かした芝すべり、カレーや石窯ピザなどの野外調理、思い出のクラフト作成など46種類ものアクティビティをご用意しております♪

千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「ライフスタイルの在り方」

台風15号、19号及21号に関連した豪雨によって被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。この災害によって、施設周辺の森は当面の間立入禁止にせざるをえない程の甚大な被害を受けました。

また、台風通過後の長引く停電・断水によって9月と10月あわせて、合計29日間施設利用の受入れを停止しました。

近年、こうした過去にないような災害が頻発しています。また夏の暑さは野外活動に影響を及ぼすほど、尋常ではない暑さとなってきています。今の私たちの生活では、電気があって、蛇口をひねれば水が出て、パソコンやスマートフォンなど便利な通信機器があることが当たり前になっています。この当たり前を前提として社会が成り立っています。ただこの生活はいつまで続くのでしょうか。むしろいつまで続けられるのでしょうか？頻発する災害が私たちのライフスタイルに警鐘をならしているように感じます。



きみかめ掲示板

【イベント報告】

9/1(日) きみかめ森のようちえん②夏の森遊び♪

今回は水遊びとシャボン玉遊びを楽しみました。大人も子どもも水鉄砲での打ち合いをしたり水風船を割ったりとみんなビショビショになってはしゃいでいました。またシャボン玉遊びでは色々な道具を使って親子で挑戦！大きなシャボン玉が空へ飛んで行くと、子どもたちが楽しそうに追いかけて、まだまだ暑い夏の終わりを楽しんでいました。



【自然情報】

実りの秋

いよいよ秋が深まるシーズン。きみかめの周りには色々な食べられる自然の恵みが有ります。例えば、ヤマノイモ、アケビ、サルナシ、マメガキ、ヤマグリなどは秋の味覚の代表格ではないでしょうか。

さて、そんな自然の恵みですが、人間が食べても甘くて美味しいものは野生の生き物にとっても美味しいのです！食べ物の少なくなる冬に備えて、サルやイノシシ、シカ、キョン、タヌキやアナグマ、テン、ハクビシン、各種鳥類など、様々ないきもの達が食料を求めてこれらの木々にやってきます。そして、うんちや食べ跡、足跡、体毛など、これまた様々な痕跡を残してゆき、それらを見つけて観察するのもこの時期、おすすめの自然の楽しみ方の一つとなっています。



～ たいぶさ 便り ～

南房総市、千葉県よりそれぞれ指定管理を受け、「大房岬自然の家・食堂」「大房岬自然公園」の管理・運営をしています。

海と森の両方を楽しめる豊かな自然を活かしたプログラム・イベントが人気で、地元の方や千葉県内の方はもちろん、県外からも多くの方が訪れます。



南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

135名の子どもと、森の中の倒木を片付けました。是非復旧作業を子どもたちと共に！という先生からの熱いご要望を沢山いただいています。数時間必要とする倒木の搬出量をたった40分で完遂できました。人数の多さはもとより、「何か役に立ちたい！」という子どもたちの情熱に、疲れてきていた心が震えました。子どもたちの前で号泣してしまった私を見て、あの子らは何を思うのか？本当にありがとう。



千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

台風により大房岬には多くの倒木が発生しましたが、ボランティアの方々のご協力もあり復旧はどんどん進んでいます。大房岬の自然はこれからどうなるのだろうかと思っていると、しっかり倒木の隙間から花をつけているヒガンバナを見つけました。「大丈夫」と言ってくれた気がしました。自然のたくましさからはいつも驚きとパワーをもらいます。



南房総市大房岬自然の家食堂 料理長 松田光央

BBQのお話を少しだけ...

今まで料理の仕事に携わってきましたが、BBQ協会インストラクターの方と一緒にBBQをして衝撃を受けました。食材にほとんど手を加えずにそのまま焼くのです。野菜は皮むかず、肉と魚は塩コショウのみで塊のまま。食材本来の味で勝負ということで、食の原点に立ち返るという意味で非常に勉強になりました。皆様もぜひ試してみてください。





Taibusa-misaki

ボランティア活動

台風15号の影響で甚大な被害を受けた大房岬ですが、全国各地から延べ500人ものボランティアの方が駆けつけてくださいました。

スタッフだけでは一体何年がかり…？といった園内の倒木処理作業も、10月再オープンができる程まで進めることができました。心より感謝申し上げます。

#大房岬自然公園

#令和元年台風15号

#がんばろう南房総

#本当にありがとうございました



いいね! 500件

たいぶさ岬掲示板

イベント 報告

7/7, 13, 14, 20, 21, 8/3, 4, 18
コーステアリング

今年度は計8回実施しました。道なき道を進み、ある時は泳ぎ、ある時は岩の上から飛び込み、海の生き物と出会うことも。コースを踏破したときは何とも言えない達成感があります。大房の定番となったアドベンチャープログラム、また来年ご参加ください。



イベント 報告

8/10(土)

カナカナ森のゆうべ&星空ナイトシアター

木陰に張ったハンモックを楽しめる野遊びブースやキッチンカーの出店、ミニ演奏会、ナイトシアターと盛りだくさんのイベントでした。ナイトシアターは、大房岬を舞台にしたオリジナルの物語を上映。映す絵も一から描いていただき、子どもたちの生朗読によって大房岬の特別な物語を皆さんにお届けできました。



生きもの 紹介

トビ(トンビ)

翼を広げると1m以上にもなる大型の鳥。海の上を旋回して浮いているものを拾ったり、たまに狩りをします。大房岬でも、海に近いところによく見ることができ、お弁当など広げてのんびりしていると、遠いところから見つけて寄ってくるので、近くにトビが見えなくても取られないように注意しましょう！



《ちば・体験活動ネットワーク》

千葉を元気にする 会員校をご紹介！

千葉自然学校は、ネットワーク型自然学校として

『自然体験活動を通して千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指す』という趣旨に賛同頂いた県内の体験活動団体を中心とした団体の皆様が、『千葉自然学校ネットワーク会員校』としてネットワークを形成し、環境保全や地域振興を図ることを目的として設立されました。

県内外からの教育旅行や、拠点である青少年教育施設での体験受入、その他様々な事業連携の取組を行っております。

【北総エリア】

- ・ワイズスノー & アウトドアスクール
- ・NPO 法人佐倉みどりネット
- ・一般社団法人千葉県環境財団
- ・千葉伝統郷土料理研究会
- ・さんむアクションミュージアム
- ・一般社団法人千葉県観光公社
- ・ヤックス自然学校
- ・林造園土木株式会社
- ・株式会社 HMC 東京旅行事業部
- ・有限会社銚子海洋研究所
- ・ピーちゃんクラブ
- ・ぬく森くらぶ
- ・食と農の体験工房「よもぎ館」
- ・国民宿舎サンライズ九十九里
- ・「わたしの田舎」谷当工房
- ・スコープジャパン株式会社
- ・千葉国際コンベンションビューロー

【上総エリア】

- ・みらい seeds
- ・Live Stock
- ・環南みんなの楽校
- ・ひらつか地域活性化協議会
- ・上総自然楽校
- ・森林塾かずさの森
- ・千葉県立内浦山県民の森
- ・市原・ちはら台自然学校
- ・特定非営利活動法人ちば里山センター
- ・NPO 法人里山会
- ・株式会社かずさアカデミーパーク
- ・NPO 法人大山千枚田保存会

【南房総エリア】

- ・一般社団法人森のようちえんはっぴー
- ・NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団
- ・白浜オーシャンリゾート
- ・NPO 法人安房文化遺産フォーラム
- ・株式会社ちば南房総
- ・道の駅三芳村・鄙の里
- ・道の駅大津の里 花倶楽部
- ・株式会社富楽里とみやま
- ・千葉県立館山野鳥の森
- ・千倉町民宿組合
- ・千倉オレンジセンター
- ・道の駅とみうら・枇杷倶楽部
- ・ローズマリー公園
- ・岩井民宿組合
- ・館山日東バス株式会社

NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団

竹内 聖一さん



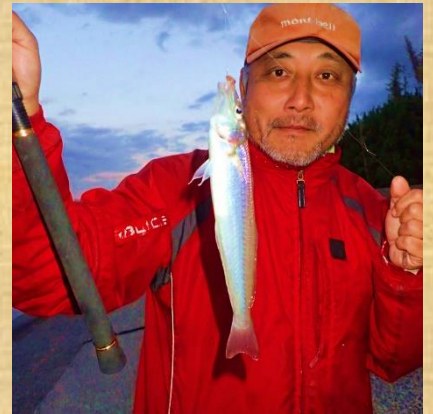
自然体験



釣り



海辺の遊び



NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団は、千葉県館山市沖ノ島を中心に、自然体験プログラム（無人島探検、スノーケリング、ビーチコーミング、釣り体験など）と環境守るための実践活動（海岸清掃調査など）を行っています。今回は竹内さんに活動の様子や、未来のお話を伺ってきました。

【活動を始めたきっかけを教えてください】

元々柏でサラリーマンをしていて、海の遊びや釣りは趣味で楽しんでいました。最初は神奈川の海へ行くことが多かったですが、館山・南房総の海へも時々遊びに行っていました。

社会人になって数年後、バブルがはじけてモノが売れない時代に突入。当時はパソコンの販売が主な業務でしたが、その頃から夜遅くまで残業が続く日々が続き、仕事に疑問を持ち始め、「この生き方で良いのか？」と自問自答を繰り返していました。

38歳の年、館山に移住することを決心しました。不安も多かったですが、何とか頑張ってみようとホテルに勤めました。そこで感じたのが、「地元の人たちが地域の魅力に気がついていないのではないか？」ということ。お客さんにおススメの場所を聞かれても、ありきたりな観光地しか伝えられない地元出身の従業員。このままではいけない、館山・南房総の豊かな自然をもっと多くの人に伝えたいと思うようになりました。そこからはたくさんのご縁のおかげで、少しずつ自然体験の仕事に携わるようになり、ついに「たてやま・海辺の鑑定団」の理事長に選任され、現在に至ります。



【活動において一番の楽しみは何ですか？】

やっぱり子どもたち・お客さんの笑顔やリアクションですね。毎年シュノーケリング体験に来てくれる家族がいるのですが、「この体験が唯一家族全員で楽しめるイベントなんです」と仰って頂けて…。それだけこの体験が、ご家族にとって大切なものになっているんだと、泣きそうになるくらい嬉しかったです。そういう瞬間が楽しみというか嬉しいですね。

【これからの夢を教えてください】

我々のような活動は、始めるよりも続けることが難しいと感じています。ですから、経済的な面も踏まえたうえで、次の世代の人たちが活動を継続していけるような仕組みを作っていくことが課題です。自然学校や、体験活動団体が全国的につながり、業界全体として取り組みの価値がもっと上がると良いですね。

個人的には新しい事務所を建てたいです。



取材：花嶋桃子（ぽによ）

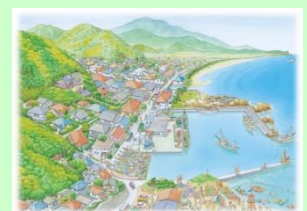
一緒に千葉を元気にしませんか？会員校募集中！

【お問い合わせ】

■千葉自然学校所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：<http://www.chiba-ns.net> メールアドレス：info@chiba-ns.net



千葉自然学校スタッフ紹介

花嶋 桃子(ぽによ) 南房総市大房岬自然の家勤務

千葉県のお隣、茨城県出身です。幼いころから身体を動かすことが好きで、大学ではスポーツ科学を専攻していました。大学の野外活動実習やボランティアでキャンプに参加したことがきっかけで、自然体験の魅力に取りつかれ、今に至ります。大房岬の自然豊かなフィールドで遊ぶのは最高に楽しいです！ぜひお気軽にお越しください。



自然の家では小学生を対象にした自然体験イベントを担当しています。

【有資格】

- ・NEAL リーダー（NPO 法人自然体験活動推進協議会）
- ・森林セラピーガイド
- ・中学校、高等学校教諭1種免許状（保健体育）
- ・プロジェクトアドベンチャー・ジャパン AP（アドベンチャー・プログラミング）講習会受講
- ・ノルディック・ウォーク公認指導員 など

【得意分野】

PA系アクティビティ/セラピーガイド

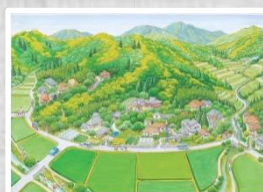
【好きなこと】

フットサル/読書/たき火/星を観ること/
美味しいものをつくること・食べること

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

認定NPO法人を目指して

～ご寄付のお願い～

当法人の活動趣旨にご賛同いただいた企業・団体・個人の皆様からのご支援をお待ちしております。（一口3,000円）

▼振込先（郵便局/払込取扱票を使用）

振替口座 00170-5-259431

加入者名 特定非営利活動法人 千葉自然学校

※払込取扱票に以下のご記入をお願いいたします。

【住所氏名欄】ご住所、お名前、電話番号

【通信欄】「寄付」、領収書のご希望有無

▼振込先（銀行）

千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275
とくていひえいりかつどうほうじん ちばしぜんがっこう りじちよう

特定非営利活動法人 千葉自然学校 理事長 久保田

※お手数ですが、ご住所・お名前・電話番号・領収書のご希望有無を千葉事務所（下記）へお知らせください。

寄附団体ご紹介

- ・学校法人中村学園ハッピースイーツ製菓専門学校 様
- ・株式会社かしわや食堂 様
- ・林造園土木株式会社 様
- ・公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー 様
- ・スコープジャパン株式会社 様
- ・株式会社 HMC 東京 千葉営業所 様
- ・株式会社戸倉商店 様
- ・株式会社富楽里とみやま 様
- ・NPO法人国際自然大学校 様
- ・有限会社原園芸 様
- ・税理士法人 Tax ジャパン 様
- 他（順不同）

発行：NPO法人 千葉自然学校

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

